

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7 年 5 月 13 日	
神戸市長 宛	
提出者	
住所 神戸市灘区八幡町4-8-4	
氏名 株式会社 島田組 代表取締役 島田 武幸	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 078-881-1526	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 島田組
事業場の所在地	神戸市灘区八幡町4-8-4
計画期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	売上高 663, 279(千円)
③従業員数	13名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事により生じる産業廃棄物は、許可を受けた収集運搬者処分業者に処理を委託する。 汚泥 → リサイクル率の高い処理業者に委託 廃プラスチック類 → 再生処理業者に委託し、破碎し再資源化 金属くず → 分別し可能な限り有価物として処理 紙くず → 再生処理業者に委託し、再資源化 木くず → 再生処理業者に委託しチップ化し、製紙用燃料用として再資源化 がれき類 → 再生処理業者に委託し再生砕石、再生資材として再資源化 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず → 再生処理業者に委託し破碎、再生材として再資源化

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 統括責任者 所属・本社 職名：取締役工事部長 廃棄物担当者 本社総務部 役割 廃棄物処理統括責任者 廃棄物処理方針の策定・廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認 本社・総務部 廃棄物の発生抑制、適正処理の推進 委託契約の締結 監督官庁への各種報告 社員・関連会社に対する教育・啓発 作業所長 廃棄物処理計画の作成 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 産業廃棄物管理票の交付・管理			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量		別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) 分別して排出を軽減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量		別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組) 現状を維持		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ、木くずなどを分別し、混合廃棄物での排出を軽減		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続して分別の実施に取り組む		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	再生資源化を実施し、処理業者との委託契約をしている		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	従来とおり		

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

別紙 産業廃棄物処理計画書

現状：前年度(令和6年度)実績量

計画：今年度(令和7年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生処理を行った(行う)量	自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量	処理の委託											
	排出量			自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により減量した(する)量			全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			
	現状	計画		現状	計画	現状	計画		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画		
がれき類	3,608.4	2,886.7	-	-	-	-	-	-	-	-	3,608.4	2,886.7	0.0	0.0	3,608.4	2,886.7	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	16.9	13.5	-	-	-	-	-	-	-	-	16.9	13.5	0.0	0.0	16.9	13.5	0.0	0.0	0.0	0.0